

2017年12月12日

大塚製薬

本年創設のスポーツ庁「スポーツエールカンパニー」に認定



- 大塚製薬は、社員の健康増進のためにスポーツ実施に向けた積極的な取り組みを行う企業として平成29年度「スポーツエールカンパニー」に認定
- 「スポーツエールカンパニー」認定制度は、スポーツ庁が、運動不足である「働き盛り世代」のスポーツ実施を促進し、スポーツに対する社会的機運の醸成を図ることを目的に本年度創設した制度
- 人々の健康への貢献を目指す当社は、まずは社員一人ひとりの健康が大切だと考え、「大塚製薬健康宣言」のもと、健康セミナーや運動プログラムの提供など多様な活動を行っている

大塚製薬株式会社(本社:東京都、代表取締役社長:樋口達夫)は、この度、スポーツ庁より、平成29年度「スポーツエールカンパニー」に認定されました。

「スポーツエールカンパニー」認定制度は、運動不足である「働き盛り世代」のスポーツ実施を促進し、スポーツに対する社会的機運の醸成を図ることを目的としてスポーツ庁が本年創設したもので、社員の健康増進のためにスポーツの実施に向けた取り組みを行っている企業が認定されます。平成29年度は217社が認定されました。

(スポーツ庁ホームページ: http://www.mext.go.jp/sports/b_menu/houdou/29/12/1399260.htm)

大塚製薬は、革新的な製品の創造や展開を通じ、人々の健康へ貢献することを目指しています。そのためには、当社の社員一人ひとりが健康に生き生きと働けることが大切だと考え、経営者が「大塚製薬健康宣言」を発表しました。また、社員自らが健康について理解し、疾病の予防や健康維持・増進に積極的に取り組めるよう、健康セミナーや運動プログラムの提供など多様な活動を行っています。スポーツ実施の促進としては、週1回のオフィス内リフレッシュ体操や、社員が多いエリアを対象とした定期的な運動プログラムの提供、社内フィットネスルームの開設、日常の職場における階段使用の推奨など、積極的に取り組んでいます。

大塚製薬は、今後も社員を含めた人々の健康維持増進に貢献してまいります。

【大塚製薬健康宣言】

Otsuka-people creating new products for better health worldwide
(世界の人々の健康に貢献する革新的な製品を創造する)

この企業理念の実現には社員一人ひとりの心身の健康が不可欠であるとの認識のもと、経営者として大塚グループ社員およびその家族の健康の維持・増進のための職場環境の整備に努めることを宣言します。

2017年1月
大塚製薬株式会社 代表取締役社長
樋口達夫



<ポカリフレッシュの様子>

【主な取り組み】

活動	内容
ポカリフレッシュ	オフィスや工場でインストラクターの指導のもと、毎週内容が異なる 8 分間のリフレッシュ体操(ポカリフレッシュ)を週に 1 回実施
健康プロジェクト	最も社員が多い徳島エリアにおいて、2017 年よりメタボ予備軍へ改善アプローチとエリア全体の健康意識向上を目的としたエリアアプローチを開始。ウォーキングや運動の推奨、食事指導等を行っている
ウォーキング大会開催	一部の工場では、定期的に地域の方々も参加できるウォーキング大会を開催。地域交流にも役立っている
社内フィットネスルーム	有酸素マシンや筋力マシンを配置。産業医、保健師、管理栄養士が一つのチームとして個人にあったメニューを作成し運動継続をサポート
日常の職場内活動	「ノーエレベーターデー」の設置や「0 円ジム始めました」ポスター掲示など、日常職場内での階段利用推奨に工夫
サークル活動支援	社員の自主的なサークル活動の運営と PR を会社が支援